

# 学習指導センターだより

第7号〔令和8年10月22日（木）〕

☎949-6680 南魚沼市六日町 865 南魚沼市民会館2F 南魚沼市学習指導センター

☎:025(773)6702 Fax:025(773)6703 Eメール:mgakusen@minamiuonuma.ed.jp

ホームページ URL: <https://www.minamiuonuma.ed.jp/1570003> 南魚沼市学習指導センターで検索



## 誤答と授業

前号の「誤読」に関連させ、今号は子どもの「誤答」を話題にしてみます。  
突然ですが、次の問題を解いてみてください。（答えを□の中に入れてみてください）

**4** 下の表は、 $y$  が  $x$  に反比例する関係を表したものです。□ に当てはまる数を求めなさい。

|     |     |    |    |     |   |    |   |     |
|-----|-----|----|----|-----|---|----|---|-----|
| $x$ | ... | -3 | -2 | -1  | 0 | 1  | 2 | ... |
| $y$ | ... | □  | -6 | -12 |   | 12 | 6 | ... |

令和8年度  
全国学力学習  
状況調査問題  
(中学校数学)

いかがでしょうか。正解は「-4」です。（ $y=\frac{12}{x}$ に代入して、計算してみてください）

この問題は、全国正答率が 60%程度であったのに対し、本市は 40%を下回る結果でした。厳しい結果に見えますが、ここに授業改善のヒントが隠れていると考えます。

さて、子どもがどのような間違いをしたのか気になりますね。調査結果によると、「0」と解答した子どもが 25%、「-3」と解答した子どもが 25%いました。この誤答をした子どもは次のような思考をしていたのではないのでしょうか。

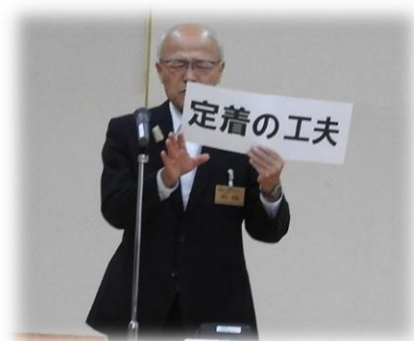
| 【0と解答した子ども】 |     |    |    |     |   | 【-3と解答した子ども】 |     |    |    |     |   |
|-------------|-----|----|----|-----|---|--------------|-----|----|----|-----|---|
| $x$         | ... | -3 | -2 | -1  | 0 | $x$          | ... | -3 | -2 | -1  | 0 |
| $y$         | ... | 0  | -6 | -12 |   | $y$          | ... | -3 | -6 | -12 |   |
|             |     |    |    |     |   |              |     |    |    |     |   |

## 南魚沼市学力向上において 真剣な議論 学力向上に係る情報交換会

10月6日（火）、ふれ愛支援センターにおいて「令和8年度 学力向上に係る情報交換会」を実施しました。以下にその概要を紹介します。

南魚沼市で「読む力」の育成に取り組んで今年度で4年目となりました。昨年度までは実証研究校の事例を参考にしながら、各学校がそれぞれ手立てを考えて取り組んできました。今年度からはさらにステップアップを図るため、中学校区ごとに共通課題を設定し、その解決に向けた実践に取り組んでいただいています。

そこで今回の情報交換会では、今年度の各校の実践内容や成果・課題を共有し合い、今年度後半および来年度からの取り組みに向けた見通しをもつ機会としました。



まず岡村教育長より、今年度のNRT検査や全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、学習内容の定着を図る工夫に取り組んでほしいとの話がありました。続いて学習指導センターから、南魚沼市の学習状況や「読む力」育成に関わる取組についての情報提供を行いました。その後、各学校から報告いただいたレポートをもとに「グループ協議①」を実施しました。これまでの視写や読書活動などの継続的な取り組みに加え、以前県内で取り組んでいたWeb配信テストへの再挑戦など、各校の工夫を凝らした実践が話題にのぼりました。

後半の「グループ協議②」では、「家庭学習」「学級づくり」のテーマに分かれて協議を行いました。学習指導センターからも、市内の家庭学習に関する取り組みや県の対策について情報提供を行うとともに、当センター発行の『学級づくりの基礎・基本』（Yフォルダ内にデータがあります）をもとに、学級づくりや授業づくりについて共有しました。「学級づくり」ではチーム担任制の導入やWebQUの活用、「家庭学習」では手引きの作成やバス待ち時間の活用など、各校の実践が紹介され、今後の取り組みに向けた大変有益な会となりました。



参加者アンケートからは、以下のような感想をいただきました。

- ・「課題や実態の分析だけでなく、自校の具体的な取り組みについて話し合うことができ、非常に参考になりました。現在は取り組みの途中の段階であるため、方向性の微調整や修正に活かせる点も大変良かったです。」
- ・「学級づくりにおいては、個々の担任の手腕以前に、全職員が学校経営のビジョンを共有し、同じ方向を向いて子どもたちを導くことの大切さを改めて確認できました。」

本会で話題となった内容につきましては、各校の職員集会や職員研修においても共有していただくとともに、今後の中学校区ごとの研究主任会でも話題に挙げていただければ幸いです。そのうえで、2月に実施予定の「第2回学力向上推進研修」に向け、来年度の取組を一層明確にいただければと考えております。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

（文責 高橋 圭祐）



– 3 –